

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	上出 孝之
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	荒木 浩一

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	6,500	6,500	B	継続
							2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	48,415	48,255	B	継続
							3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	7,000	7,000	B	継続
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	4,135 (H29)	4,182 (H30)	1	東日本誘客促進事業費	首都圏観光客	37,377	37,315	B	見直し
							1	西日本誘客促進事業費	観光客全般	20,500	20,500	B	拡大
		観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	6,500	6,500	B	継続
							再掲	東日本誘客促進事業費	観光客全般	37,377	37,315	B	見直し
							1	大手旅行予約サイト連携誘客促進事業費	観光客全般	4,250	4,250	B	統合
							2	プロスポーツチーム連携誘客促進事業費	観光客全般	4,000	3,983	B	継続
							3	誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000	15,000	B	継続
課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,753 (H29)	24,915 (H30)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続	

※人数については暦年の数値である

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	<b>事業開始年度</b>	H28	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	ほっと石川観光プラン2016		

<b>作成者</b>	<b>組織</b>	誘客戦略課			
	<b>職・氏名</b>	主任主事 北本 聡			
	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1537 内線 3943			

**<事業の背景及び目的>**  
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、(公社)石川県観光連盟に対して資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>**
- 1 貸付額 6,500千円
  - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】実施事業内容**
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
    - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
    - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催
    - (3)石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	<b>指標</b>	<b>観光入り込み客数</b>				<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<b>事業費</b>	予算			51,000	10,000	6,500
	決算			51,000	10,000	6,500
<b>一般財源</b>	予算			0	0	0
	決算			0	0	0
<b>事業費累計</b>		0	0	51,000	61,000	67,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向け、H30年度は新たに大手企業に向けた観光物産展の開催などの国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、前年比約100.7%の約24,915千人、平成26年比も約115.3%と開業前を大きく上回り、開業効果の持続に寄与している。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、大手企業等での観光物産展による誘客プロモーションなど、引き続き、(公社)観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作組	織	誘客戦略課			
成職	氏名	主事 池田 章紘			
者電	話番	076	-	225	-
				1537	内線 3944

＜事業の背景及び目的＞  
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

＜事業の概要＞

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外				
支給条件	人数	県外参加者100人以上			
	規模	北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの			
	会期	連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む			
その他	以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に関与するもの。 ⑤国又は地方公共団体から補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要綱と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと思われるもの。				
	国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。			
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。				

(単位: 万円)

県外参加人数(人)	国内	国際	県外参加人数(人)	国内	国際	県外参加人数(人)	国内	国際
100 ~ 199	8	100	2,100 ~ 2,199	168		4,100 ~ 4,199	328	
200 ~ 299	16	140	2,200 ~ 2,299	176		4,200 ~ 4,299	336	
300 ~ 399	24	180	2,300 ~ 2,399	184		4,300 ~ 4,399	344	
400 ~ 499	32	220	2,400 ~ 2,499	192		4,400 ~ 4,499	352	
500 ~ 599	40	260	2,500 ~ 2,599	200		4,500 ~ 4,599	360	
600 ~ 699	48	300	2,600 ~ 2,699	208		4,600 ~ 4,699	368	
700 ~ 799	56	340	2,700 ~ 2,799	216		4,700 ~ 4,799	376	
800 ~ 899	64	380	2,800 ~ 2,899	224		4,800 ~ 4,899	384	
900 ~ 999	72	420	2,900 ~ 2,999	232		4,900 ~ 4,999	392	
1,000 ~ 1,099	80	460	3,000 ~ 3,099	240		5,000 ~	400	
1,100 ~ 1,199	88	500	3,100 ~ 3,199	248				
1,200 ~ 1,299	96	540	3,200 ~ 3,299	256				
1,300 ~ 1,399	104	580	3,300 ~ 3,399	264				
1,400 ~ 1,499	112	620	3,400 ~ 3,499	272				
1,500 ~ 1,599	120	660	3,500 ~ 3,599	280				
1,600 ~ 1,699	128	700	3,600 ~ 3,699	288				
1,700 ~ 1,799	136	(上限)	3,700 ~ 3,799	296				
1,800 ~ 1,899	144		3,800 ~ 3,899	304				
1,900 ~ 1,999	152		3,900 ~ 3,999	312				
2,000 ~ 2,099	160		4,000 ~ 4,099	320				

(上限)  
※収支が一致する額が交付上限

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費					
(単位: 千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算			45,644	48,415
	決算			44,833	48,255
一般財源	予算			45,644	48,415
	決算			44,833	48,255
事業費累計	0	0	0	44,833	93,088

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 平成30年度の実績は、1千人以上の全国大会等が33件、参加人数が約174千人となり、北陸新幹線金沢開業前を上回った。また、コンベンション誘致推進事業費補助金の交付件数は63件であり、全国大会の誘致および県外客の誘客に一定の成果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 引き続き、県内で開催されるコンベンションの誘致を図るため、(公財)金沢コンベンションビューローと連携したPRの実施など誘致活動に取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	教育旅行誘致推進事業費	<b>事業開始年度</b>	H15	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令・計画等</b>	ほっと石川観光プラン2016		

<b>作成者</b>	<b>組織</b>	誘客戦略課			
	<b>職・氏名</b>	専門員 松林 憲吾			
	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1537 内線 3943			

**<事業の背景及び目的>**  
 北陸新幹線の金沢開業及び東日本誘客推進室による積極的な学校訪問により、近年、首都圏を中心に本県を訪れる教育旅行が増加している中、北陸新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増に向け、受入体制(宿泊施設・教育プログラム)を充実し、誘致活動を強化。

- <事業の概要>**
- (1) 誘致活動
- ・三大都市圏の学校、旅行会社の訪問
  - ・現地視察会の開催
  - ・教育旅行誘致資料の作成
  - ・北陸三県で連携した誘致活動の実施(北陸三県修学旅行フェアの開催等)
- (2) 受入体制の強化
- ① 宿泊施設の充実
- ・宿泊施設の研修会の開催
  - ・修学旅行用「宿の受入マニュアル」の作成
- ② 教育プログラムの充実
- ・首都圏大手旅行会社教育旅行担当者によるエクスカーションの実施
- (3) 修学旅行誘致戦略マネージャーの活動強化
- ・通年週4日フル勤務化による営業・受入の強化

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				<b>評価</b>	B	
<b>課題</b>	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	<b>指標</b>	<b>観光入り込み客数</b>				<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<b>事業費</b>	予算	2,000	2,000	2,000	4,000	7,000
	決算	2,000	2,000	2,000	4,000	7,000
<b>一般</b>	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	3,500
	決算	2,000	2,000	2,000	2,000	3,500
<b>財源</b>	<b>事業費累計</b>	11,800	13,800	15,800	19,800	26,800

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	学校等への訪問により教育旅行の誘致活動を行った結果、平成30年度の修学旅行の受入れ実績については、3大都市圏から61校が来県し、延べ宿泊人数は開業前に比べ約1.7倍の約13千人となっており、成果を上げている。 ※H30訪問数 学校訪問246件 旅行会社等訪問129件 また、新たに「受入マニュアル」を作成し、宿泊施設に対して研修会を行うなど受入体制の強化を図った。 ※H30宿泊施設の研修会 加賀地区、能登地区各1回計33人参加
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	北陸新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増のため、引き続き学校訪問等による誘致活動を展開するとともに、受入マニュアルを活用した研修会の開催等により受入体制を強化する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	東日本誘客促進事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 竹中 康将			
	電話番号	076 - 225 - 1543 内線 3947			

**<事業の背景及び目的>**  
 北陸新幹線金沢開業により高まった石川への関心を持続・発展させるため、効率的かつ効果的な情報発信や誘客促進を図る。  
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JRと北陸三県が連携した新たな通年キャンペーンに合わせて、東北地方においても四季を通じた誘客の促進を図る。

- <事業の概要>**
- 【首都圏】**
- (1) 大手私鉄グループ旅行会社等とのタイアップによる誘客促進
    - ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、グループ施設での観光PRイベント、電車内広告など（東武鉄道(東武トップツアーズ)・東京急行電鉄(東急トラベルサロン))
    - ・東京メトロ車両ドア上モニターでの観光PR映像の放映
  - (2) インターネット広告等を活用した戦略的なプロモーション
    - ・検索サイトやSNSでターゲットを絞って広告を掲載し、旅行申込サイトとリンクした観光PRサイトに誘導
  - (3) 「ふるさと祭り東京2019」への出展
    - ・東京ドームにて開催される「食」と「祭り」をメインとしたイベント(H31年1月)での観光PR食をメインとしたブース出展、祭りの披露 など

- 【東北地方】**
- (4) JR東日本グループとのタイアップによる誘客促進
    - ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、主要駅での観光PRイベント、電車内広告 など
  - (5) 日本郵便とのタイアップによる誘客促進
    - ・郵便局イベントスペースでの観光PR
  - (6) 直通新幹線の運行継続に向けた取り組みの実施
    - ・両県共通ノベルティの作成、直通新幹線到着時のお出迎え など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	首都圏からの入り込み客数				単位	千人	
目標値	現状値						
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	7,000	2,419	4,542	4,269	4,135	4,182	

事業費						
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	18,300	28,300	21,300	34,185	37,377
	決算	18,300	28,300	21,300	34,066	37,315
一般	予算	18,300	18,300	1,500	26,243	18,689
	決算	18,300	18,300	1,500	26,181	18,658
事業費累計		72,950	101,250	122,550	156,616	193,931

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	大手私鉄グループの旅行会社と連携した誘客キャンペーンやSNS等のインターネット広告を活用した誘客プロモーションなど、最近の旅行トレンド等も踏まえた誘客対策を実施した結果、首都圏からの入込客数は、前年比約101.1%の約4,182千人と開業効果が持続しており、平成26年比約172.9%と開業前を大きく上回った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	首都圏からの更なる誘客の強化を図るため、旅行意欲が高く、かつ、温泉や食など本県ならではの魅力に関心が高い若年層女性やアクティブシニアをターゲットとした旅行商品の造成や情報発信の取組を新たに実施する。 また、インターネット広告を活用したプロモーションについては、ターゲットを首都圏から三大都市圏に広げるとともに、観光情報を伝え、旅行の予約に繋がるキャンペーンサイトを作成し、各エリアに強みを持つ旅行会社の予約サイトと連携したプロモーションを実施する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	西日本誘客促進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 佐々木 英雄			
	電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3950			

<事業の背景及び目的>  
 北陸新幹線開業効果の落ちが見られる中、関西・中京圏からの入込数は堅調に推移している。  
 北陸新幹線県内全線開業やその先の大阪延伸を見据え、関西・中京圏からの旅行者を対象に情報発信の更なる強化と誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) 大手旅行会社と連携した誘客促進
- ① 個人旅行の誘客強化
- ・JR西日本グループ(日本旅行)連携事業
    - 旅行商品造成・販売、主要店舗にパンフレットコーナー設置
    - 日本旅行旗艦店に「石川デスク」を設置(年2回、各1週間)
  - ・大手私鉄グループ連携事業(連携先: 阪急電鉄、名古屋鉄道、京阪電鉄、阪神電鉄、近畿日本鉄道)
    - 車内中吊り・主要駅構内広告掲載
    - 主要店舗における店頭販促、新たな旅行商品造成(阪急交通社、名鉄観光、近畿日本ツーリスト)
- ② 団体旅行の誘客強化
- ・大手旅行会社連携事業(連携先: JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、名鉄観光)
    - 団体旅行商品の造成(専用特典の提供)、団体旅行セールスマン招聘など
- (2) マイカー利用者をターゲットとした情報発信
- ・東海北陸道沿線連携事業(連携先: 岐阜県、富山県、NEXCO中日本など)
    - 東海北陸道SAにおけるPR、名古屋市内イベントへの出展、旅行会社などへのPR等
  - ・大手自動車販売会社連携事業
    - 販売店店頭へのパンフレット配架、顧客向けイベントなど
  - ・JAF連携事業
    - JAF会員HPでの情報発信、会員向けイベント出展、月間会員誌への広告、
  - ・ETC割引活用事業
    - ETC割引旅行商品PR、JTBカード会員への広告
- (3) イベントを活用した情報発信
- ・「いしかわ百万石物語展」開催事業
    - 百貨店で開催される物産展会場で観光PRコーナーを設置(大阪市など)
  - ・プラネタリウム観光PR事業
    - プラネタリウムで観光PR映像放映、観光PRコーナー設置(堺市、東大阪市、城陽市など)

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	13,000	6,903	9,259	9,011	8,877	8,919	

事業費						
	(単位: 千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算	3,000	8,000	10,500	21,000	20,500
	決算	3,000	7,646	10,500	21,000	20,500
一般	予算	3,000	0	0	10,500	10,250
	決算	3,000	0	0	10,500	10,250
事業費累計		3,000	10,646	21,146	42,146	62,646

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	鉄道事業者と連携した誘客プロモーションや、マイカー利用客をターゲットとしたJAFや大手自動車販売会社と連携した情報発信等を行った結果、関西・中京圏からの入込客数については、それぞれ、ほぼ前年並みの約2,742千人、約1,995千人となり、開業前の平成26年比ではそれぞれ約108.8%、約101.6%となった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	北陸新幹線県内全線開業も見据え、関西・中京圏からの更なる誘客の強化を図るため、JRと北陸三県等が連携した誘客キャンペーンに加え、新たに、周年企業の団体旅行の誘致強化や日本最大の旅行博に出展し、情報発信を強化するなど、関西・中京圏の旅行特性等も踏まえた誘客対策に取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	大手旅行予約サイト連携誘客促進事業費	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	H30	作組織 誘客戦略課 成職・氏名 主任主事 濱口 紀一郎 者電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			

<事業の背景及び目的>  
 インターネットを活用した宿泊予約(2012年:43.3%)や旅行検討段階での情報収集(2013年:43.7%)が増加している状況を踏まえ、インターネット上で個人客をターゲットとした効果的な情報発信を行い、三大都市圏からの誘客の促進を図る。

<事業の概要>  
 大手旅行予約サイト(楽天トラベル)を活用した情報発信  
 季節に合ったテーマ(温泉、食、景観等)を設定した県内各地域の観光情報の特集ページを作成・発信するとともに、三大都市圏を対象にメールマガジンを配信することで効果的に誘客の促進を図る。  
 特集ページ掲載時期 夏(5月～7月)、秋(11月ごろ)、冬(1月ごろ)  
 特集ページ掲載エリア 夏:能登、秋:加賀・白山、冬:金沢  
 特集ページ掲載テーマ 夏:能登立国1,300年、秋:カニと温泉、冬:食

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	観光入り込み客数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費					
(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算		9,500	9,000	4,250
	決算		9,500	9,000	4,250
一般財源	予算		0	9,000	2,125
	決算		0	9,000	2,125
事業費累計	0	0	9,500	18,500	22,750

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	楽天トラベルでの特集・メルマガ配信により、同サイト上での旅行予約が前年同期比112%と増加するなど、一定の成果をあげている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	統合	R1年度は、楽天トラベルに加え、他の大手旅行予約サイトとも連携するとともに、検索サイト・SNSでの広告掲載とも連動させた戦略的なプロモーションを実施する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	プロスポーツチーム連携誘客促進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	氏名	主事 池田 章紘		
者	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945			

<事業の背景及び目的>  
 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

<事業の概要>  
 (1)事業内容  
 ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツ3チームが行う観光PRへの支援を実施  
 (2)連携先(県内プロスポーツ3チーム)  
 ・ツエーゲン金沢(サッカー)  
 ・石川ミリオンスタース(野球)  
 ・金沢武士団(バスケットボール)  
 (3)PR方法  
 ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出  
 ・チームスタッフによる観光パンフレットの配布 など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていた石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915	
事業費							
	(単位:千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費	予算				4,080	4,000	
	決算				4,079	3,983	
一般財源	予算				2,040	2,000	
	決算				2,040	1,992	
事業費累計		0	0	0	4,079	8,062	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、ツエーゲン金沢の7試合、石川ミリオンスタースの7試合、金沢武士団の20試合でパンフレットやノベルティを配布することにより、多くの来場者に石川の観光をPRし、積極的な情報発信を図った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県への誘客促進を図るため、引き続き、アウェイゲームでの観光パンフレットの配布など県内プロスポーツチームと連携した三大都市圏等における観光PRに取り組む。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 誘客プロモーション事業費	<b>事業開始年度</b> H29	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作組織</b> 誘客戦略課
	<b>根拠法令・計画等</b>	ほっと石川観光プラン2016	<b>成職・氏名</b> 主事 池田 章紘
			<b>者電話番号</b> 076 - 225 - 1537 内線 3945

<事業の背景及び目的>  
 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
    - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
  - (2) ホームページを活用した情報発信
    - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
  - (3) ノベルティグッズによるPR
    - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
  - (4) 維持管理
    - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	石川ならではの魅力の発信					
	<b>指標</b>	<b>観光入り込み客数</b>			<b>単位</b>	千人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
	<b>(単位:千円)</b>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<b>事業費</b>	予算				15,000	15,000
	決算				15,000	15,000
<b>一般財源</b>	予算				15,000	15,000
	決算				15,000	15,000
<b>事業費累計</b>		0	0	0	15,000	30,000

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」は、平成25年10月のデビュー以来、平成30年度末までに、2.5日に1回のペースで県内外のイベントなどに出演し、観光PRに取り組んできた。 また、観光誘客動画「いしかわ百万石物語～ひやくまんさん小唄～」の普及を図るため、園児による「ひやくまんさん小唄」発表会を実施した。 ※H30年度 金沢エリア2園、能登エリア3園、加賀エリア2園、白山エリア2園
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県への誘客促進を図るため、引き続き、「ひやくまんさん」を活用して県内外での積極的な観光PRに取り組む。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織 : 誘客戦略課 成 職・氏名 : 主任主事 濱口 紀一郎 者 電話番号 : 076 - 225 - 1537 内線 3944
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016			

<事業の背景及び目的>  
 北陸新幹線の開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール  
 平成30年 4月～11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン  
 平成30年12月～平成31年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化  
 ・イベントにおける出向宣伝  
 ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
- ② 旅行会社施策の強化  
 ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発  
 ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成  
 ・旅行会社店頭社員現地研修の実施  
 ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B			
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	30,000	21,611	25,018	24,588	24,753	24,915

事業費						
(単位:千円)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	予算				11,500	11,500
	決算				11,500	11,500
一般財源	予算				5,750	5,750
	決算				5,750	5,750
事業費累計		0	0	0	11,500	23,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	JRと北陸三県等が連携した年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、H30年度はカニをテーマにしたキャンペーンなどの国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、前年比約100.7%の約24,915千人、平成26年比も約115.3%と開業前を大きく上回り、開業効果の持続に寄与している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向け、本県への誘客促進を図るため、引き続き、JRと北陸三県等が連携し、工夫を凝らしながら年間を通じたキャンペーンを継続的に実施する。